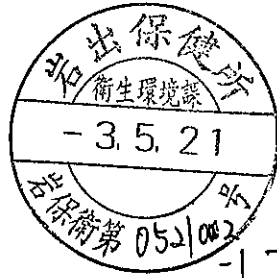


産業廃棄物処理計画書

令和3年5月21日

和歌山県知事 殿



提出者

住 所 和歌山県紀の川市貴志川町岸宮1415

氏 名 三陽建設株式会社

代表取締役 前窪 巖

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0736-64-4600

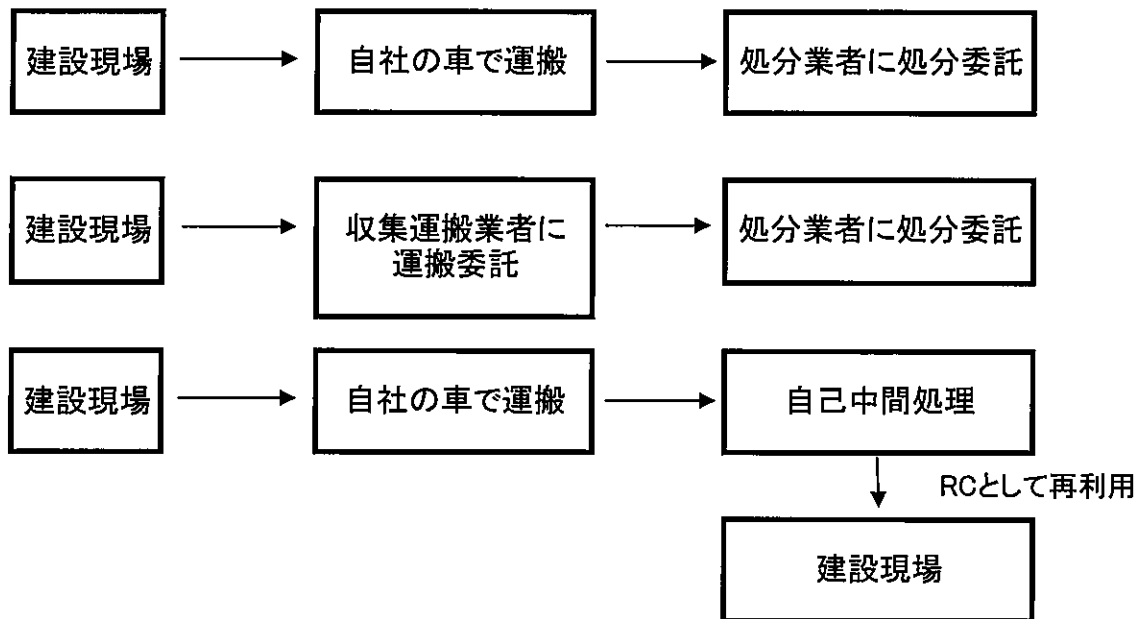
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三陽建設 株式会社
事業場の所在地	和歌山県紀の川市貴志川町岸宮1415
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 ¥537,882,000-
③ 従業員数	11名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙、添付

④産業廃棄物の一連の処理の工程

廃棄物発生フロー図

産業廃棄物



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙、添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート破片）	
	排 出 量	869.18 t	
	（これまでに実施した取組） 最終処分量の削減、再生利用の拡大等について、数値目標及び達成時期を定め、実施しています。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート破片）	
	排 出 量	760.00 t	
	（今後実施する予定の取組） 工程内リサイクルを推進する。 発生抑制を考慮した作業を検討する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

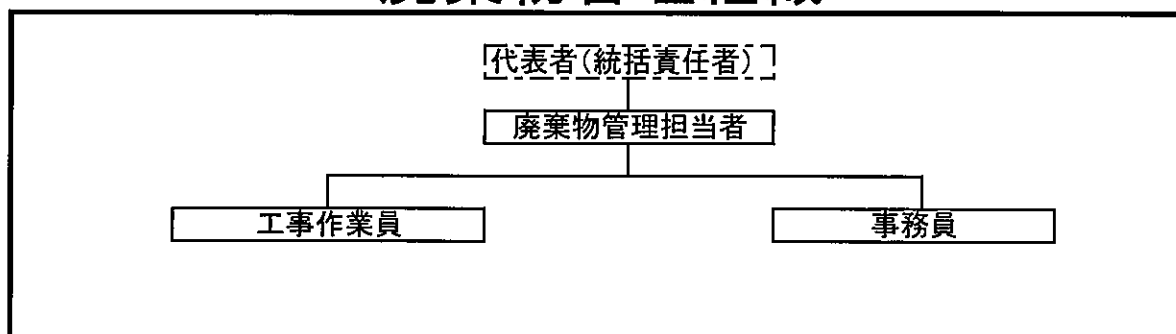
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工程毎に発生したものをそれぞれ分別する。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工程毎に発生したものをそれぞれ分別する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者	代表取締役 前窪 武	
廃棄物管理 担当	前窪 篤、 除田 貢、 前窪隆志、 岩城光孝、 和田邦博、 津田靖久、 巽 孝司 組織人数:7人	
役 割	廃棄物処理 統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管 理担当	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の選定 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○従業員に対する教育・啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート破片）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	10.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自己中間処理後、再利用をする。 RC-40、再生アスファルト合材を使用する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類（コンクリート破片）	
	全処理委託量	869.18 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	863.28 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5.90 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 官公庁との連携及び、再生利用ルートを確保しています。 処理内容を確認し、処理業者と適切な委託契約を締結しています。 マニフェスト伝票の管理を徹底しています。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート破片)	
	全処理委託量	750.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	745.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自主的な管理基準を設定し、環境管理レベルの向上を図る。		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書

産業廃棄物の種類	令和3年度の目標										
		①排出量(t)	②+⑧自ら再生利用を行う量(t)	⑤自ら熱回収を行う量(t)	⑦自ら中間処理により減量する量(t)	③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量(t)	⑩全処理委託量(t)	⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑫再生利用業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)
廃油	前年度の実績	0.36	0	0	0	0	0.36	0.36	0	0	0
	目標	0.36	0	0	0	0	0.36	0.36	0	0	0
木くず	前年度の実績	286.57	0	0	0	0	286.57	0	286.57	0	0
	目標	100.00	0	0	0	0	100.00	0	100.00	0	0
がれき類(アスファルト・コンクリート破片)	前年度の実績	103.31	0	0	0	0	103.31	84.78	18.53	0	0
	目標	100.00	0	0	0	0	100.00	95.00	5.00	0	0
がれき類(コンクリート破片)	前年度の実績	869.18	0	0	0	0	869.18	863.28	5.90	0	0
	目標	760.00	10.00	0	0	0	750.00	745.00	5.00	0	0
がれき類	前年度の実績	62.26	0	0	0	0	62.26	32.20	30.06	0	0
	目標	5.00	0	0	0	0	5.00	0	5.00	0	0
ガラスくず等	前年度の実績	76.10	0	0	0	0	76.10	0	76.10	0	0
	目標	5.00	0	0	0	0	5.00	0	5.00	0	0
建設混合廃棄物	前年度の実績	20.54	0	0	0	0	20.54	1.69	18.85	0	0
	目標	20.00	0	0	0	0	20.00	0	20.00	0	0
廃プラスチック類	前年度の実績	5.20	0	0	0	0	5.20	0	5.20	0	0
	目標	3.00	0	0	0	0	3.00	0	3.00	0	0
汚泥	前年度の実績	0.84	0	0	0	0	0.84	0.84	0	0	0
	目標	0.80	0	0	0	0	0.80	0.80	0	0	0
(石綿)がれき類	前年度の実績	1.64	0	0	0	0	1.64	0	1.64	0	0
	目標	1.00	0	0	0	0	1.00	0	1.00	0	0
繊維くず	前年度の実績	0.37	0	0	0	0	0.37	0	0.37	0	0
	目標	0.10	0	0	0	0	0.10	0	0.10	0	0
合計	前年度の実績	1,426.37	0	0	0	0	1,426.37	983.15	443.22	0	0
	目標	995.26	10.00	0	0	0	985.26	841.16	144.10	0	0